イワギク

Dendranthema zawadskii (Herbich) Tzvelev

選定理由

日本各地に点在する。県内では火山山頂帯の岩場などに生育している。 登山者による踏みつけや人による採取で消滅した生育地があり、絶滅の 危険性が極めて高い。

県内分布 │ 玖珠丘陵地·山地,九重火山群

分布域

本州(岩手·福井·石川·奈良) 四国 九州(熊本·大分·宮崎) 朝鮮半島,中国(中部・東北部),ウスリー

キク科

Compositae

生育環境

火山山頂帯風衝地の岩場。

カテゴリー

大分県 IA 環境庁 ||

現

状 │ 人による採取で著しく減少し,採取しにくい所にごくわずか残ってい

る。

備

大陸系遺存植物。国立・国定公園指定植物「阿蘇くじゅう, 耶馬日田 英彦山]

ヒゴタイ

Echinops setifer Iljin

選定理由

主として火山性高原や火山山頂帯の草原に生育し, 生育地は限られて いて,個体数も少ない。野焼きの停止による植生の遷移や人工牧野へ の改変などで消滅した所もあり、人による採取もあって絶滅の危険性 が高くなっている。

県内分布

耶馬渓地区,玖珠丘陵地·山地,九重火山群,由布·鶴見火山群,大分 川·大野川丘陵地,豊後水道域,大野川上流域,祖母·傾山地

分 布 域 本州(愛知 岡山) 四国 九州(長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)

朝鮮半島

キク科 Compositae

生育環境 丘陵地から火山山頂帯の日当たりのよい草原。

カテゴリー

大分県 IB 環境庁 IB 現

「九重火山群」や「由布・鶴見火山群」の草原では,採取されて激減 している。

備

大陸系遺存植物。国立公園指定植物「阿蘇くじゅう]

アキノハハコグサ

Gnaphalium hypoleucum DC.

選定理由 │ 県内では生育地は点在し,個体数は極めて少ない。河岸工事や道路工 事による生育環境の悪化で,絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布

耶馬渓地区,別府湾沿岸域,大野川上流域

キク科 Compositae

分 布 域 | 本州 四国 九州(熊本·大分·鹿児島) 朝鮮半島 中国 台湾 インド フィリピン

カテゴリー

生育環境|低地や丘陵地の草地。

大分県 IB 環境庁 IB

> 現 1年草のため生育環境の変化によって持続しにくく,かつて生育して いた所も生育状態の把握されてない所が多い。